

第414輯

わが町と原

みはら歴史と観光の会

平成33年3月創刊
月刊

令和 7年

9月号

三原市歴史民俗資料館新装開館



〔 エントランス前で催された開館記念テープカット 〕

2025.8.01 撮影 正田 哲夫(本町)

令和7年8月01日(金) 三原市歴史民俗資料館が従来の円一町から館町に移転し、待望の新装開館日を迎えた。エントランス前で記念のテープカットが行われ、三原市長、教育長、市議会議員等をはじめこの資料館では中心的展示人物である小早川隆景公末裔の隆治氏のご子息や資料館にご協力いただいた人達によって鉄が入れられた。

九
月
の
行
事

各

地

会

15日(月・祝) 各種敬老行事

27日(土) 勉強会「三原志稿 (1-6)」 10:00～ サン・シープラザ4F

P 1	表紙…表題：三原市歴史民俗資料館新装開館	行事予告
	写真：エントランス前で催された開館記念テープカット	
2	大谷さんの訃報に接して	田野浦 友宗 邦夫
3～5	R7秋のバス研修旅行案内	沼田東町 西村 雅幸
6～8	佛通寺夏季講座「佛通寺と尊皇巖」	沼田東町 津島 敏子
	「佛通寺と尊皇巖」を聴いて	西 宮 小森キヨミ
9～11	三原の、広島県の、江戸期の陸上交通(9)	中之町 三好 邦範
12	会よりの便り	事務局



ながつき

長月

今月の各地



きのと み

乙巳

むら

AJ2685

令和

七年

AD2025

まら。 まち まち 歳時記

大谷さんの訃報に接して

田野浦 友宗 邦夫

大谷さんから初めて声を掛けられたのは、2016年1月24日、講演会「里海フォーラム～芸予の里海文化を考える」(城町庁舎)が終わった後、画家・横井弘三(1889-1965 長野県生まれ)の三原風景(松寿寺から筆影山)を描いた作品の写真をくださった時のように思います。



左の写真は、翌々日に糸崎のご自宅を訪ね実物の横井さんの絵を見せていただいた時のスナップです。この油彩画は1952(昭和27)年頃、お父上の光太郎さんが松寿寺に滞在して帝人絵画部の指導をしていた横井さんから購入した作品とか。

この作品は、先年大谷さんから「私も高齢になったので松寿寺に寄付しました。」と丁寧な電話がありました。

松寿寺に保管されている横井さんの大作「天女像」など数点は、2015年9月～11月、長野県信濃美術館と翌年4月～6月、練馬区立美術館で開催された「没後50年“日本のルソー”横井弘三の世界展」へ出品されました。思い起こせば、2010年2月、横井さんの作品を発掘・顕彰する「横井弘三とオモチャン会」代表の黒田弘志さん(上田市)から観光文化課に届いた1本の電話から始まったプロジェクトでした。

小さなエピソードですが、私にとって大谷さんのお人柄を偲ぶ大切なよすがとなっています。

2025.7.1記



レキカンだより

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目 9-32

令和7年9月

検索

わが町三原

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンには新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行 事 報 告

- 7月25日 月報発送配布作業(後、大原、岡田、小川、金森、桑田、川上、小森、正田哲、瀬畑、西村、高杢、松竹、三好他)
- 8月04日 8月度理事会(市郷連講演会、秋のバス研修旅行、県史協の件他)
- 8月01,05,06日 京覧カントリークラブ入口花壇整備(瀬畑)

行 事 予 定

1. 勉強会 三原志稿(1-6)

- (1) 日 時 R7.9.27(土) 10時～12時
- (2) 会 場 サン・シープラザ4F 第2研修室
- (3) 内 容 「三原志稿」の輪読

2. 行事予定

2.1 市郷連 秋季歴史講演会と見学会 申込締切8月31日!

- (1) 日 時 R7.9.07(日)13:30～15:20講演会 15:30～16:30見学会
- (2) 会 場 三原市歴史民俗資料館(館町) ホールと展示場
- (3) 内 容 講 演 演題「資料から読み取る江戸時代の三原」
講師 安田女子大学 島田大助 教授
見学会 学芸員による展示品の解説

2.2 県史協 現地研修会 申込締切済!

バスの乗車場所は複数あり。各自確認願います。

2.3 レキカン秋のバス研修旅行 研修先詳細は本文に記載

- (1) 定員 25名(体験学習のため、先着順とします)
- (2) 申込期限 9月30日(火)。但し定員に達した時点で、受付締切。
- (3) 乗車場所 (帝人工場旧正門前か隆景広場か)を含めて事務局までお申し込みください。